

スポーツにおける AIを用いた 分析の発展と民主化

講演概要

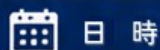
近年、コンピュータビジョンを起点とするスポーツデータの自動計測技術と、機械学習手法の進展により、プレーの定量的理解や意思決定支援への期待が高まっている。一方で、計測、認識、分類、予測、評価、提案に至る各段階には、データ取得に伴う権利制約や計測の難しさ、集団行動の複雑さ、判断の文脈依存性などに起因する未解決の課題が依然として多い。本発表では、主にゴール型スポーツを対象として、コンピュータビジョンによるデータの自動取得、機械学習に基づく反事実予測を用いたプレー評価、さらに強化学習を活用した試合全体・全選手を対象とする評価と行動提案に関する取り組みを紹介する。最後に、これらの技術を広く利用可能にするための取り組みとして、各種データの公開、オープンソース解析プラットフォームOpenSTARLab、開催したコンペティションなどを紹介し、今後の展望を議論する。



講師

藤井 慶輔 氏

名古屋大学情報基盤センター教授



日時

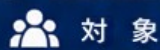
11月11日（水）

16:00～17:30



会場

仙台大学 B300/オンライン



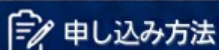
対象

学生 教職員 一般



参加費

無料



申し込み方法

申し込み・お問い合わせは、
右のQRコードからお願いします。



申し込み締め切り：2026年11月6日（金）

講師プロフィール

専門は、機械学習と行動科学、スポーツ科学の融合。主にサッカーやバスケットボールなどの集団スポーツを対象に、選手の動きやチームワークをデータから解析し、予測・評価・シミュレーションする情報技術の研究に取り組む。日本学術振興会特別研究員PD、理化学研究所革新知能統合研究センター研究員、名古屋大学大学院情報学研究科助教・准教授を経て、2026年10月より現職。2026年より株式会社サイバーエージェント Sports AI Tech Lab のFounding Lead をクロスアポイントメント制度により兼務。研究成果を競技現場で活用できる技術へと発展させるとともに、スポーツAIの分析技術やデータを広く利用可能にするためのオープンな研究基盤の構築と社会実装を進めている。令和7年度文部科学大臣表彰 若手科学者賞などを受賞。スポーツAI分析を体系的に解説した単著「Machine Learning in Sports」をSpringr社より2025年に出版。「AI時代のスポーツアナリティクス」を東京大学出版会より2026年に出版。

コーディネーター・司会（座長）

吉井 秀邦 教授

仙台大学 体育学部 体育学科 学科長